

堆積岩を作ろう

1 目的

長い年月を経て固まってできた堆積岩。ルーペを使った観察などから、堆積岩の特徴を確かめる学習に加え、自分たちで堆積岩を作る作業を通して、「水中で積もった堆積物が、長い時間をかけて、大きな力を受けて固い岩石になる」ことについて、理解を深めるための教材です。

2 準備するもの

先を切ったプラスチック製の注射器（30mL、180円ほど）、水溶性接着剤、プラスチックカップ、ビーカー、ガラス棒、れき、砂、どろ

自然界では、水中の化学成分などで粒がくっつく。海水浴の後に体がべたべたするのは水中の化学成分のため。この実験では、接着剤で代用している。

3 実験の方法



①れきや砂、泥を用意する。れき岩を作るときは、砂や泥を混ぜる。



②水溶性接着剤を少量溶かした水を、れきや砂、泥が浸るくらい入れる。



③先を切り落とした注射器にそれぞれ入れる。



④れき+砂+泥、砂、泥の3種類を用意したところ。



⑤ペーパータオルなどの上でピストンを強く押し、余分な水分を押し出す。



⑥5分ほど放置する。



⑦崩さないように慎重に押し出す。ろ紙やティッシュなどの上に押し出して乾燥しやすくする。



⑧1日乾燥させておいた堆積岩を観察する。